



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成26年7月31日

上場会社名 旭硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 石村 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 小林 純一 (TEL) 03-3218-5603
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日 配当支払開始予定日 平成26年9月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 四半期利益		四半期 純利益		親会社の所有者に 帰属する四半期純利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	659,159	3.2	25,911	△32.7	18,023	△42.4	6,120	△70.9	3,689	△81.3	△33,615	-
25年12月期第2四半期	638,432	-	38,514	-	31,287	-	21,037	-	19,686	-	130,824	-

	基本的1株当たり 四半期純利益	希薄化後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	3.19	3.18
25年12月期第2四半期	17.03	16.51

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	2,049,522	1,106,825	1,047,086	51.1
25年12月期	2,120,629	1,145,145	1,087,216	51.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	13.00	-	5.00	18.00
26年12月期	-	9.00	-	-	-
26年12月期(予想)	-	-	-	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に帰 属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350,000	2.3	65,000	△18.6	35,000	△21.1	20,000	5.1	15,000	△7.1	12.98

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	1,186,705,905株	25年12月期	1,186,705,905株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	31,081,984株	25年12月期	30,945,903株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	1,155,799,125株	25年12月期2Q	1,155,671,546株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(要約四半期連結純損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(要約四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
(その他収益及びその他費用)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①2014年12月期第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間(2014年1月1日から2014年6月30日まで)における当社及び関係会社(以下、当社グループという)を取り巻く世界経済は、中国をはじめとする新興国の成長鈍化が見られたものの、欧州の景気は持ち直し、米国の個人消費も安定的に推移していることから、緩やかな景気回復が続きました。

日本においては、政府の経済政策等により景況感の改善がみられ、景気は緩やかに回復しました。

このような環境の下、当社グループでは自動車用ガラスを中心とするガラス製品及び化学品の出荷が増加し、また円安が進行したことから当第2四半期連結累計期間の売上高は前第2四半期連結累計期間比207億円(3.2%)増の6,592億円となりました。しかしながら、液晶用ガラス基板や東欧の建築用ガラスの販売価格下落、原燃材料価格の上昇、円安による一部海外子会社の収益性低下などにより、営業利益は同126億円(32.7%)減の259億円、税引前四半期利益は同133億円(42.4%)減の180億円、親会社の所有者に帰属する四半期純利益は同160億円(81.3%)減の37億円となりました。

②2014年12月期第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

○ガラス

建築用ガラスの出荷は全ての地域で前年同期に比べ増加しました。製品価格は東欧では前年同期に比べ低い水準に留まったものの、欧州全域で第2四半期に改善を示すなど、堅調に推移しました。また円安の影響もあり、建築用ガラスは前年同期に比べ増収となりました。

自動車用ガラスは、一部地域で自動車生産台数は減少したものの、全体としては堅調に推移し、当社グループの出荷は増加しました。さらに円安の影響もあり、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間のガラスの売上高は前第2四半期連結累計期間比327億円(10.2%)増の3,535億円となりました。営業損益については、建築用ならびに自動車用ガラスで増収となったことに加え、欧州建築用ガラス事業の構造改革施策の効果等により同70億円改善し、14億円の損失となりました。

○電子

表示デバイス用ガラス基板のうち、液晶用ガラス基板の出荷は前年同期並みであったものの、販売価格は前年同期に比べ下落しました。プラズマ・ディスプレイ・パネル関連製品の出荷は需要縮小により大きく減少しました。電子部材の出荷はオプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品ともに前年同期に比べ増加しました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の電子の売上高は前第2四半期連結累計期間比270億円(15.5%)減の1,470億円となりました。営業利益は、円安による一部海外子会社の収益性低下も加わり、同215億円(54.8%)減の177億円となりました。

○化学品

クロールアルカリ・ウレタンは、日本・アジアでの出荷が堅調に推移したことから、前年同期に比べ増収となりました。フッ素・スペシャリティは、フッ素樹脂や医農薬中間体・原体の出荷が堅調に推移したことから、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の化学品の売上高は前第2四半期連結累計期間比127億円(9.2%)増の1,509億円、営業利益は同23億円(29.0%)増の101億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E(低放射)ガラス、建築用加工ガラス(断熱・遮熱複層ガラス、安全ガラス、防・耐火ガラス、防犯ガラス等)、自動車用強化ガラス、自動車用合わせガラス、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、装飾ガラス等
電子	表示デバイス用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、光学薄膜製品、オプトエレクトロニクス用部材、合成石英製品、ガラスフリット・ペースト、半導体製造装置用部材、照明用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、ガス、溶剤、フッ素樹脂、撥水撥油剤、医農薬中間体・原体、ヨウ素製品、電池材料等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

(2) 財政状態に関する説明

○資産

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比711億円減の20,495億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことにより為替換算後の有形固定資産等が減少したことに加え、上場株式の株価下落に伴い、その他の金融資産が減少したことによるものであります。

○負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比328億円減の9,427億円となりました。これは主に、社債の償還等により減少したことによるものであります。

○資本

当第2四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末比383億円減の11,068億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことや上場株式の株価が下落したことに伴い、その他の資本の構成要素が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期純利益	親会社の所有者に 帰属する 当期純利益
2014年2月7日発表予想(A)	14,000	750	400	250	200
今回発表(B)	13,500	650	350	200	150
増減額(B-A)	△500	△100	△50	△50	△50
前期(2013年12月期)(C)	13,200	799	444	190	161
増減率(%)((B-C)/C)	2.3	△18.6	△21.1	5.1	△7.1

2014年の世界経済は、緩やかな成長を継続し、そのペースを若干加速させることが見込まれます。

このような環境の下、建築用ガラスの出荷は、日本・アジア、北米においては堅調に推移する見込みです。欧州での出荷は本格的な回復には至らないものの、構造改革施策による業績改善が見込まれます。自動車用ガラスは、新興市場を中心に堅調な自動車需要が見込まれることから、出荷は前期と比べ増加する見込みです。

表示デバイス用ガラス基板のうち、液晶用ガラス基板の出荷は市場成長率が鈍化するものの通期では堅調に推移する見込みです。プラズマ・ディスプレイ・パネル関連製品は需要が大幅に減少する見込みです。電子部材の出荷は半導体関連製品、オプトエレクトロニクス用部材ともに堅調に推移する見込みです。

化学品関連製品の出荷については、アジアのクロール・アルカリ製品及びフッ素関連製品が堅調に推移する見込みです。

しかしながら、第2四半期連結累計期間において、液晶用ガラス基板やディスプレイ用特殊ガラスの出荷数量及び販売価格が当初想定を下回りました。この影響を受けて2014年12月期における業績は、2014年2月7日に公表した内容を下回る見込みとなったため、通期業績予想を修正しました。

なお、通期の平均為替レートも、対米ドル円為替レートを102円、対ユーロ円為替レートを140円に修正しています。

《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しにのみ全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当連結会計年度より、以下の基準書及び解釈指針をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。これらの基準書等の適用が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IAS第32号	金融商品：表示	金融資産と金融負債の相殺表示の要件の明確化及び適用指針の追加
IAS第36号	資産の減損	非金融資産の回収可能価額の開示
IAS第39号	金融商品：認識及び測定	デリバティブ契約の更改とヘッジ会計の継続
IFRIC第21号	賦課金	賦課金に係る負債認識の方法
IFRS第10号 IFRS第12号 IAS第27号	連結財務諸表 他の企業への関与の開示 個別財務諸表	投資企業が保有する投資の会計処理

要約四半期連結純損益計算書における「営業利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標であります。「その他収益」及び「その他費用」の主な内訳には、為替差損益、固定資産売却益、固定資産除却損、減損損失、事業構造改善費用などがあります。「事業利益」には、金融収益・費用及び法人所得税費用を除いたすべての収益・費用が含まれております。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2013年12月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2014年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	132,649	139,399
営業債権	260,901	246,682
棚卸資産	236,611	238,690
その他の債権	35,446	28,898
未収法人所得税	7,305	5,114
その他の流動資産	9,265	11,214
流動資産合計	682,179	670,000
非流動資産		
有形固定資産	1,059,946	1,021,901
のれん	34,944	35,222
無形資産	27,272	25,122
持分法で会計処理されている投資	39,336	39,902
その他の金融資産	243,053	222,202
繰延税金資産	29,743	29,229
その他の非流動資産	4,154	5,938
非流動資産合計	1,438,450	1,379,521
資産合計	2,120,629	2,049,522
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	135,559	130,976
短期有利子負債	57,068	59,911
1年内返済予定の長期有利子負債	125,618	66,833
その他の債務	98,669	112,093
未払法人所得税	15,055	15,702
引当金	2,438	5,109
その他の流動負債	13,609	11,130
流動負債合計	448,018	401,757
非流動負債		
長期有利子負債	392,327	423,957
繰延税金負債	29,267	15,569
退職給付に係る負債	86,505	81,027
引当金	14,147	14,929
その他の非流動負債	5,217	5,455
非流動負債合計	527,465	540,939
負債合計	975,484	942,697
資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	100,650	100,590
利益剰余金	641,740	639,787
自己株式	△29,884	△29,976
その他の資本の構成要素	283,835	245,811
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,087,216	1,047,086
非支配持分	57,929	59,738
資本合計	1,145,145	1,106,825
負債及び資本合計	2,120,629	2,049,522

(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結純損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)
売上高	638,432	659,159
売上原価	△467,834	△496,916
売上総利益	170,597	162,242
販売費及び一般管理費	△132,670	△137,352
持分法による投資利益	587	1,022
営業利益	38,514	25,911
その他収益	1,157	6,455
その他費用	△8,458	△12,462
事業利益	31,214	19,904
金融収益	3,094	2,798
金融費用	△3,021	△4,679
金融収益・費用合計	73	△1,881
税引前四半期利益	31,287	18,023
法人所得税費用	△10,250	△11,902
四半期純利益	21,037	6,120
親会社の所有者に帰属する四半期純利益	19,686	3,689
非支配持分に帰属する四半期純利益	1,350	2,431
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益(円)	17.03	3.19
希薄化後1株当たり四半期純利益(円)	16.51	3.18

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)
四半期純利益	21,037	6,120
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付負債(資産)の純額の再測定	12,844	956
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	26,035	△12,671
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	63	△5
純損益に振り替えられることのない項目合計	38,943	△11,720
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	△193	△385
在外営業活動体の換算差額	71,037	△27,639
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	—	9
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	70,843	△28,016
その他の包括利益(税引後)合計	109,787	△39,736
四半期包括利益合計	130,824	△33,615
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	125,404	△34,190
非支配持分に帰属する四半期包括利益	5,420	574

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	100,423	655,421	△30,076	△48,996	48,402
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	19,686	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	12,998	26,022
四半期包括利益合計	—	—	19,686	—	12,998	26,022
所有者との取引額等						
配当	—	—	△15,022	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△19	—	—
自己株式の処分	—	—	△30	222	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	100	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	233	—	—	△233
株式報酬取引	—	△73	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	27	△14,819	203	—	△233
期末残高	90,873	100,450	660,288	△29,873	△35,998	74,191

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	174	92,083	91,663	908,304	52,443	960,747
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	19,686	1,350	21,037
その他の包括利益	△193	66,890	105,717	105,717	4,070	109,787
四半期包括利益合計	△193	66,890	105,717	125,404	5,420	130,824
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△15,022	△453	△15,475
自己株式の取得	—	—	—	△19	—	△19
自己株式の処分	—	—	—	192	—	192
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	100	△2,079	△1,978
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△233	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△73	—	△73
その他企業結合等	—	—	—	—	929	929
所有者との取引額等合計	—	—	△233	△14,822	△1,602	△16,425
期末残高	△18	158,974	197,147	1,018,886	56,260	1,075,147

当第2四半期連結累計期間(自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	100,650	641,740	△29,884	△25,940	90,441
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	3,689	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	989	△12,668
四半期包括利益合計	—	—	3,689	—	989	△12,668
所有者との取引額等						
配当	—	—	△5,778	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△10	—	—
自己株式の処分	—	—	△7	92	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	144	—	—	△144
株式報酬取引	—	△59	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	△173	—	—
所有者との取引額等合計	—	△59	△5,642	△92	—	△144
期末残高	90,873	100,590	639,787	△29,976	△24,950	77,628

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
期首残高	△69	219,403	283,835	1,087,216	57,929	1,145,145		
当期変動額								
四半期包括利益								
四半期純利益	—	—	—	3,689	2,431	6,120		
その他の包括利益	△376	△25,824	△37,880	△37,880	△1,856	△39,736		
四半期包括利益合計	△376	△25,824	△37,880	△34,190	574	△33,615		
所有者との取引額等								
配当	—	—	—	△5,778	△540	△6,319		
自己株式の取得	—	—	—	△10	—	△10		
自己株式の処分	—	—	—	84	—	84		
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△144	—	—	—		
株式報酬取引	—	—	—	△59	—	△59		
その他企業結合等	—	—	—	△173	1,775	1,601		
所有者との取引額等合計	—	—	△144	△5,939	1,234	△4,704		
期末残高	△445	193,579	245,811	1,047,086	59,738	1,106,825		

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	31,287	18,023
減価償却費及び償却費	67,358	68,266
受取利息及び受取配当金	△2,660	△2,776
支払利息	2,970	3,782
持分法による投資損益	△587	△1,022
固定資産除売却損益	2,524	△458
営業債権の増減額	12,143	9,687
棚卸資産の増減額	△6,425	△7,239
営業債務の増減額	△6,458	△2,655
その他	△4,447	5,696
小計	95,705	91,303
利息及び配当金の受取額	3,270	3,203
利息の支払額	△3,158	△3,587
法人所得税の支払額	△8,172	△14,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,645	75,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△77,452	△49,185
有形固定資産の売却による収入	2,020	5,772
その他の金融資産の取得による支出	△1,177	△1,194
その他の金融資産の売却及び償還による収入	2,678	665
その他	△1,680	△966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,611	△44,908
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の増減	10,341	6,592
長期有利子負債の借入及び発行による収入	45,292	35,627
長期有利子負債の返済及び償還による支出	△44,302	△59,545
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△1,978	-
自己株式の取得による支出	△19	△10
配当金の支払額	△15,022	△5,778
その他	△1,848	973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,537	△22,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,150	△2,146
現金及び現金同等物の増減額	15,646	6,749
現金及び現金同等物の期首残高	133,818	132,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	149,464	139,399

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	318,765	168,297	136,805	14,563	638,432	—	638,432
セグメント間の売上高	1,968	5,733	1,438	23,112	32,253	△32,253	—
計	320,734	174,031	138,244	37,675	670,685	△32,253	638,432
セグメント利益又は損失(営業利益)	△8,442	39,160	7,818	309	38,847	△332	38,514
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	21,037

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	351,315	144,176	149,647	14,020	659,159	—	659,159
セグメント間の売上高	2,157	2,806	1,260	23,995	30,219	△30,219	—
計	353,472	146,982	150,907	38,015	689,378	△30,219	659,159
セグメント利益又は損失(営業利益)	△1,444	17,688	10,088	△590	25,742	169	25,911
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	6,120

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

(その他収益及びその他費用)

その他収益

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)
為替差益	—	3,397
固定資産売却益	326	1,808
その他	831	1,248
その他収益合計	1,157	6,455

その他費用

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)
為替差損	△2,171	—
固定資産除却損	△2,850	△1,350
事業構造改善費用	△2,520	△8,732
その他	△915	△2,379
その他費用合計	△8,458	△12,462

(重要な後発事象)

該当事項はありません。